

プノムローク小学校

所在地	トボークモム州 トボークモム郡 ロカポープラム・コミュニン ヴィルボーン村
距離/時間	プノンペンから約 171 km / 車で約 3 時間 30 分
生徒数	29 人（小学 1 年生 21 名、2 年生 8 名）
教員	1 人
施設の現状	【校舎 A】 教師の自宅の床下を間借りした仮校舎 1 室のみ
調査状況 及び 問題点	<p>この学校は、1997 年にプノムローク小学校として設立。小学生 1 年から 3 年生まで、合計 41（女子 19）名の生徒と先生 3 名で運営していた。当時の木造 3 教室は、嵐で 2013 年末に倒壊し、それ以降再建されていない。ヴィルボーン村は、新しい敷地は準備したが、新校舎は建設されていない。2014 年の初旬に、小学 1・2 年生は、教師の自宅の軒下を使って授業を再開。小学 3 年生と先生 2 名は、本校のポーンタック小学校へ通うことになった。</p> <p>ロカポープラム・コミュニン（集合村）には、9 つの小学校と 3 つの分校があり、プノムローク小学校はその分校の 1 つ。子供の人口は 3~4 歳が 64 人、5 歳が 65 人、6 歳が 44 人で、学校の必要性は高まっている。</p> <p>生徒は現在も民家（教師の家）の床下で勉強しているが、壁はなくビニールシートで囲んでいるだけなので、雨、風、嵐の時は授業ができない。強風が吹いたり、激しい雨が降ると、授業にならないとのこと。また、親は交通事故が心配で小さい子どもたちを遠くの本校に通わせたくないため、近くに低学年のための分校が望まれている。尚、新たな分校の建設地は、現在の校舎から約 100m 離れた場所に準備されている。</p>
必要な支援	1 棟 1 教室の新校舎、教室内備品、トイレ 1 棟
ご支援額の目安	約 300 万円
<p>【校長先生のインタビュー】 名前：ペイ・オウン / 年齢：49 歳 / 性別：女性 / キャリア：30 年</p> <p>Q.1 子どもを教えるときに何か問題点がありますか。 → 雨季に嵐になったり、雷が鳴ると、子供たち注意散漫になり、勉強に集中できなくなります。中には、嵐や雷を怖がる生徒もいます。</p> <p>Q.2 子どもたちはトイレに行く習慣は身につけていますか。 → 私の家のトイレを使うように指導しているのですが、なかなかいうことをきてくれません。野外で済ませてるようです。</p> <p>Q.3 予算がもう少しありましたら、どのようなことに使用したいです。 → まず、本やノートなどの教材を購入したいと思います。また、私はシートの壁を改善したいし、スポーツ用具もほしいですね。</p>	

